

保全活動ボランティア



ワイキキ歴史街道ツアー



ハワイ大学



日程

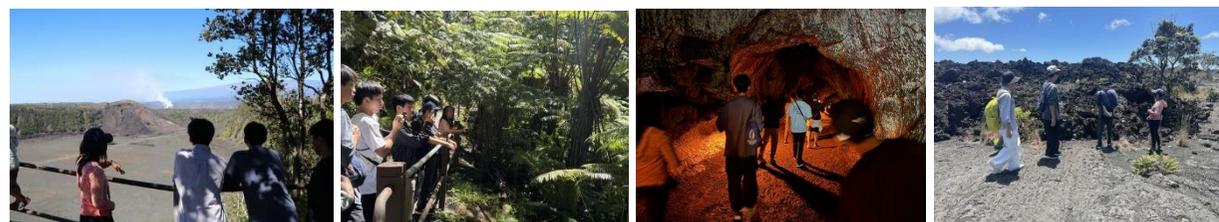
- 第1日 移動、歓迎会、ホームステイ先泊
- 第2日 ハワイ火山国立公園、ホームステイ先泊
- 第3日 ヒロ高校訪問、マイクロプラスチックについてプレゼンテーション、ヒロ海岸(ビーチクリーンアップ), Mokuāpapa Discovery Center 施設見学、国立天文台ハワイ観測所施設見学、ホテル泊
- 第4日 保全活動ボランティアに参加(Lokowaka Pond でボランティア活動) ホノルルへ移動、ホテル泊
- 第5日 ワイキキ歴史街道ツアー、ハワイ大学、ホノルル自由研修、ホテル泊
- 第6日 帰国



9月7日(日)～13日(土)にかけて、ハワイ研修が行われました。2年生理数科7名と引率教員1名が、ヒロ高校等を訪れ研究交流を行いました。

ヒロ高校での研究交流などを始め、国立天文台ハワイ観測所施設(すばる天文台)見学や保全活動ボランティアに参加など、たいへん充実した内容で、生徒たちは多くのことを吸収しようと積極的に活動していました。また、ヒロ高校の生徒とも大いに交流することができ、研究活動だけでなく、お互いを知ろうと英語や日本語でコミュニケーションを取り合う姿が見られました。いろいろな方面でたくさんの刺激を受けた研修でした。

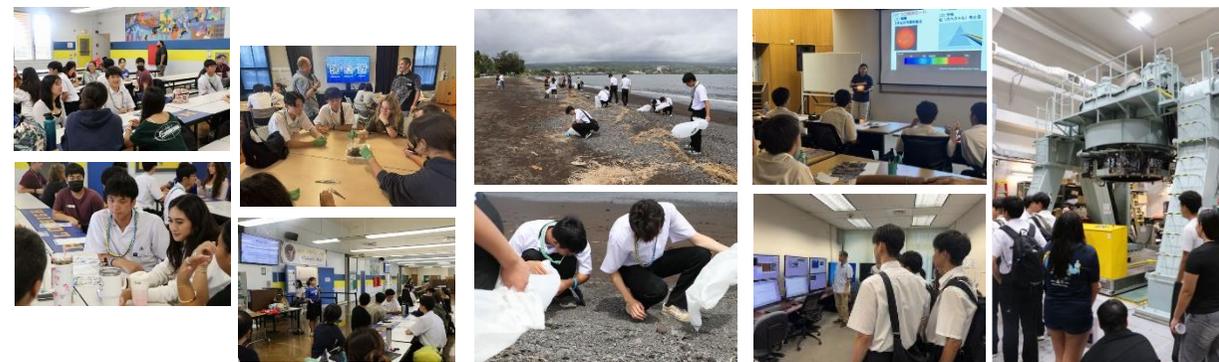
ハワイ火山国立公園



ヒロ高校

ビーチクリーンアップ

すばる天文台



生徒の感想

- 最初はホストファミリーが何を言っているのか理解するのが難しかったが、最後の方は何を言いたいのかをすぐに理解できたので、成長していることを実感した。自分の家とは違う環境で過ごしてみて、日本とハワイの文化の違いや、食べ物の違いを感じることができたと思います。
- 「自然の雄大さ」と言うものを初めて本当に実感した気がした。火山活動が全ての地形を作っていることを学ぶことができ、日本では見ることのできない景色の数々に驚かされるばかりだった。特に、傾斜は緩やかなのにその高さは圧倒的なマウナロアに感動した。
- グループワークでは、英語で意見を出すのに苦労したものの、自分の思いを伝えることの大切さを感じました。ハワイの生徒たちは積極的に発言し、話し合いに主体的に参加していて、自分との姿勢の違いを実感しました。
- 日本にしかない強みがたくさんある場所(すばる天文台)だった。特に、一度に膨大な量のデータを取れる点がすごいなと思った。世界の最前線で研究を続けて欲しいと思った。
- 長い時間と労力をかけてたくさんの外来種を回収することができたが、ロコワカポンドにはまだまだたくさんあった。外来種の繁殖力の強さを実感することができた。日本にいる外来種も取り除けるようにいろんな取り組みに参加したいと思った。
- ワイキキは、かつて農村だった時に蚊に悩まされた反省を生かして街全体で蚊が発生しないようにしていることが興味深かった。
- 地球温暖化による海面上昇により、環境による生態系の破壊だけでなく、観光客の減少など経済にも打撃があることがわかった。このことから、環境を守ることは、動物にとっても人間にとっても大切なことだと理解した。

～ハワイ研修にあたりお世話になった方々～

金沢大学の竹内裕先生、河内幾帆先生、ハワイ大学マノア校の樽井礼先生、ヒロ高校のシハタ先生、現地ガイドの長谷川久美子さん、歴史ガイドのさゆり・ロバーツさん